

# 不正出血があれば受診を

## 不正出血とは？

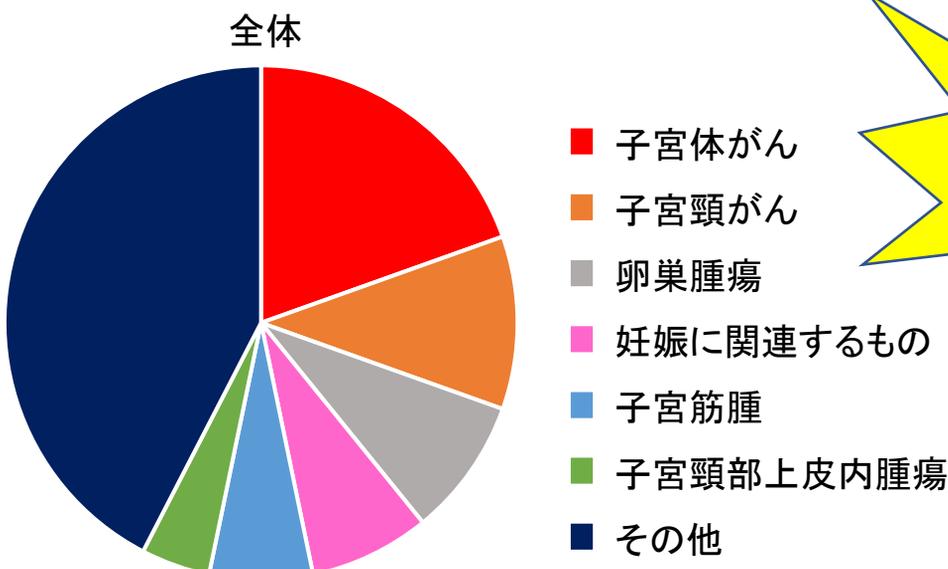
ホルモン異常や様々な病気のため月経以外に出血することを不正出血といいます。新しい血液は赤色ですが、古い血液は茶色、わずかな出血では黄色のこともあります。月経と月経の間の排卵期に起こる中間期出血など病気ではないものもありますが、なかには重大な病気の症状のこともあります。

## 不正出血を起こす病気は？

- ①ホルモン異常によるもの  
卵巣機能不全、月経異常など
- ②子宮腔部びらん  
生理のある女性にはごく普通にみられる子宮腔部が赤くただれた状態。病気ではありませんが、性交時に出血したり、感染が起こりやすくなり、炎症を起こすこともあります。
- ③炎症によるもの  
病原菌の感染、萎縮性腔炎、子宮内膜炎など
- ④良性の腫瘍  
子宮頸部または内膜のポリープ、子宮筋腫など
- ⑤妊娠に関連するもの  
流産、異所性妊娠など
- ⑥**悪性の腫瘍**  
子宮頸がん、子宮体がん、卵巣腫瘍、腔がんなど

## 不正出血のために受診された方の病気の割合は？

2019年に当院婦人科を初めて受診された方は597名で、不正出血のため受診された方は91名でした。子宮体がんのかたが1番多く(19.8%)、続いて子宮頸がん(11.0%)のかたでした。

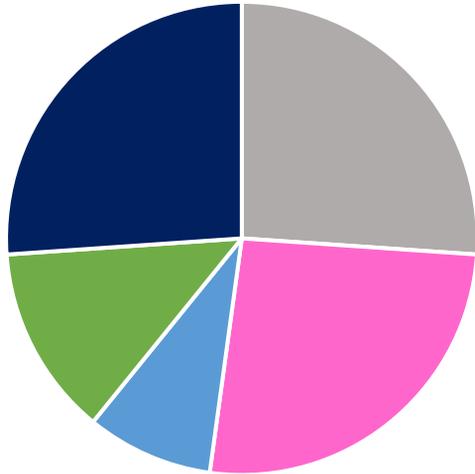


30%が  
子宮がん

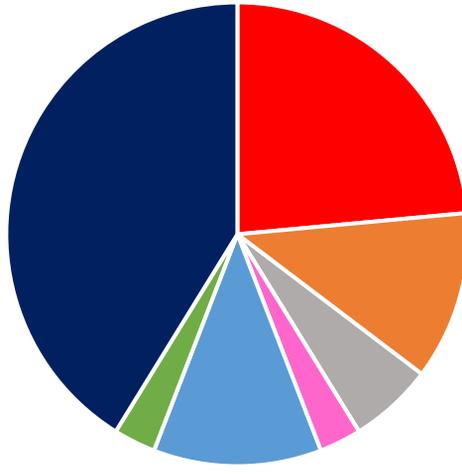
## 年齢別の不正出血のため当科受診された方の病気の割合は？

39歳未満のかたは、卵巣腫瘍、妊娠に関連するもの、子宮頸部上皮内腫瘍  
40～59歳のかたは、子宮体がん、子宮頸がん、子宮筋腫  
60歳以上のかたは、子宮体がん、子宮頸がん  
の方を多く認めました。

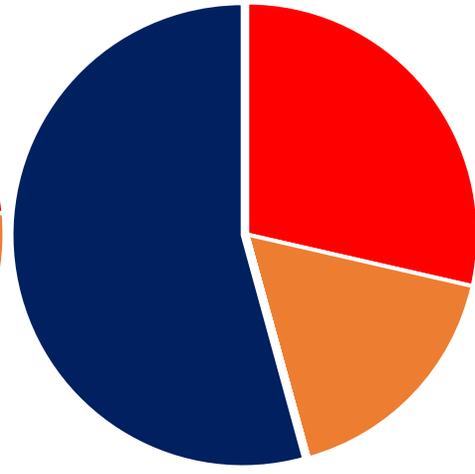
～39歳



40～59歳



60歳～



- 子宮体がん ■ 子宮頸がん ■ 卵巣腫瘍 ■ 妊娠に関連するもの
- 子宮筋腫 ■ 子宮頸部上皮内腫瘍 ■ その他

40歳以降では  
不正出血の原因として  
子宮がんが多い！

### まとめ

不正出血では重大な病気が隠れていることもあります。  
是非、産婦人科を受診して検査を受けてください。

一度の検査で異常が見つからなくても、不正出血を繰り返すときはごく初期の病気が潜んでいることもあり、再度検査を受けることをおすすめします。

不正出血を認めたら  
受診を！